



令和4年9月2日

救急医療週間の実施について

— 9月9日は「救急の日」 —

救急医療週間は、救急医療と救急業務に対する都民の皆様の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に、毎年9月9日の救急の日を含む日曜日から土曜日までの1週間に行っています。

東京消防庁では本年も「救急の日」及び「救急医療週間」を中心に下記の推進事項のもとに普及活動を実施いたします。

1 救急の日及び救急医療週間

- (1) 救急の日・・・令和4年9月9日（金）
- (2) 救急医療週間・・・令和4年9月4日（日）から9月10日（土）まで

2 「第9回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

最優秀賞2団体、優秀賞1団体（資料1）

- (1) 最優秀賞(消防総監賞)
 - ・国営昭和記念公園管理センター 昭和記念公園 パークス共同体（立川市）
 - ・三鷹市役所（三鷹市）
- (2) 優秀賞(救急部長賞)
 - 学校法人 ケイ・インターナショナルスクール（江東区）

3 救急医療週間中の各消防署の主な行事

当庁ホームページ、公式アプリ、SNS等で広報いたします。また、各消防署の行事については、東京消防庁公式アプリでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、行事が中止又は延期となる場合があります。最新の情報は各消防署へお問い合わせください。

4 推進事項

各項目の詳細については東京消防庁ホームページからご確認ください。

(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kouhouka/houdou.html>)

(1) 東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知及び利用促進

東京消防庁では急な病気やけがで救急車を呼ぶか判断に迷った際に、電話で相談できる「救急相談センター（＃7119）」と、緊急性を自己判断できる「東京版救急受診ガイド」により、都民の皆様に安心を提供しています。

今年で開設15年を迎えた東京消防庁救急相談センター（＃7119）の更なる利

用促進に向けて、広報活動を集中的かつ強力に推進していきます。(資料2)

(2) 応急手当の普及促進

バイスタンダーの応急手当は、救命効果の向上に大きく関わっています。普段から応急手当の方法を覚えていただき、誰もが自信を持って応急手当を実施できる社会を目標に、更なる応急手当の普及促進を図ります。(資料3)

また、公共の場における応急手当の実施を促進し、救命効果の向上を図るため、119番通報の受付対応と並行し、通報者に対する応急手当のアドバイス(口頭指導)を実施しています。(資料4)

(3) 救急車の適正利用の促進

119番通報で救急要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車が出動しますが、救急要請が増加して近くの救急車が全て出動してしまうと、遠くにいる救急車が出動することになり、到着までに時間がかかってしまいます。

救急車の到着が遅れると、真に救急車を必要としている生命の危機が迫った方を病院に搬送する時間が遅くなり、命が助かる可能性が低下しますので、真に緊急を要する方のために、救急車の適正利用を呼びかけます。(資料5)

問合せ先

東京消防庁(代)	電話 3212-2111
総合指令室管理係	内線 3746
救急医務課救急相談係	内線 4545~4546
救急指導課救急普及係	内線 4625~4626
広報課報道係	内線 2345~2350

「第9回地域の応急手当普及功労賞」の決定について

1 地域の応急手当普及功労賞について

この賞は、地域における応急救護体制づくりに主体的に取り組んでいる応急手当奨励事業所等を各消防署から募集し、効果的かつ模範的な取り組みを表彰するものです。なお、受賞団体の取り組みは、奏功事例として広く紹介し、地域の応急救護体制づくりの一層の充実を図ることを目的としています。

2 受賞団体について

(1) 最優秀賞（消防総監賞）

ア 国営昭和記念公園管理センター 昭和記念公園 パークス共同体

最優秀賞受賞の理由

(7) 職員の中から応急手当普及員を3名育成し、委嘱状の交付を受け、救命講習の自主開催を意欲的に行っています。

(4) 公園の広大な敷地をカバーするため、巡回車両3台に常時AEDを積載するモバイルAED体制により、園内及び周辺地域で発生する救急事案に対して早期に対応できる体制を整えています。

イ 三鷹市役所

最優秀賞受賞の理由

(7) 市民が安心して過ごせるまちづくりを実現するため、総務部職員課が受講計画等を管理し、新規採用者の教育課程に救命講習受講が取り込まれています。

(4) 施設内だけではなく、職員の発案で出向車両にも応急手当キットを常に積載して、市民の急病やケガに迅速に対応できる体制を整えています。

(2) 優秀賞（救急部長賞）

学校法人 ケイ・インターナショナルスクール

優秀賞受賞の理由

ア 40か国の教職員、学生から構成され、英語を共通言語として救命講習の自主開催、応急救護訓練を実施しています。

イ 校内では2分以内に到着するようにAEDを配置するとともに看護教員が駆け付ける計画が整備されるなど、救護事象発生時の運用要領を定めています。

資料2

東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドの周知及び利用促進

「#7119」東京消防庁救急相談センター（以下「救急相談センター」という。）は、急な病気やけがで判断に迷った際の電話相談窓口として平成19年6月から運用を開始し、令和3年は約36万件の電話を受付け、約24万件の救急相談^{※1}及び約12万件の医療機関案内^{※2}を行うなど、都民の皆様に安心を提供しています。

また、症状の緊急度を自身で判断できる東京版救急受診ガイド（以下「救急受診ガイド」という。）をウェブと冊子により提供しており、電話相談と併せて、都民の皆様に安心を提供するツールとしてご利用いただいております。（別紙1）

今後、救急相談センター及び救急受診ガイドの更なる利用促進を図るため、あらゆる機会を通じた広報活動を強力に推進していきます。

救急相談センターの受付状況等については別紙2、広報用ポスターは別紙3のとおりです。

※1 救急相談・・・相談者の症状から、救急車で医療機関へ行くべきか、自分でいつ頃までに何科へ受診すべきかの緊急度を判断しアドバイスを行っています。

※2 医療機関案内・・・病院からの情報に基づき、その時点で診察可能となっている病院をご案内しています。

≪病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…「#7119」≫

病院？救急車？迷ったら…

東京消防庁救急相談センター

#7119

☎ 電話で相談
東京消防庁救急相談センター

💻 ネットでガイド
東京版救急受診ガイド

こちらからもつながります

23区

03-3212-2323

多摩地区

042-521-2323

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

知ろう 使おう #7119

(作者 古川 康平さん 府中市在勤)

(1) 「#7119」東京消防庁救急相談センター

急な病気やけがで「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな？」「救急車を呼んだほうがいいのかな？」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、24時間・年中無休で対応しています。

病院？ 救急車？迷ったら

#7119

こちらからもつながります
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

☎ 電話で相談 #7119 電話
東京消防庁救急相談センター

💻 ネットでガイド #7119 検索
東京版救急受診ガイド

※ご利用には通常の通信料がかかります

救急相談センター

迷ったら

おなかが痛いけど、どの病院に行けばいいんだろう？

ケガや急な発熱。病院に行くべきか、救急車を呼ぶべきかわからない…

ためらわず

突然の激しい頭痛や、急な息切れ、呼吸困難などの症状がみられたら

自動音声ガイダンス

医療機関をお探しの方 1
・近くの病院を知りたい

救急相談をご希望の方 2
・今すぐ病院へ行くべきか
・何科を受診すべきか 等

1を押した方
2を押した方

24時間受付（年中無休） 救急相談センター

救急相談 通信員
●医療機関案内

救急相談 看護師
●救急相談の対応
●緊急性の有無や受診の必要性等のアドバイス

救急相談 医
●相談業務における医学的判断プロセスの監督と最終決定

※救急相談は、日本救急医学会の監修により東京都医師会が構築したプロトコルに基づいて相談者医師が対応しています。また常駐している医師（救急相談医）が必要に応じて緊急を行い、医学的見地に基づいた質の高い救急相談対応を行っています。

緊急性がある → 救急車による搬送

緊急性がない → 医療機関案内

救急相談以外の相談 → 福祉保健局等が開設する窓口を案内

119番通報を!

救急相談センターの主なサービス

- 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- 受診の必要性に関するアドバイス
- 東京都の医療機関の案内

救急相談として受けられない内容

- 健康相談
- 医薬品情報に関すること
- セカンドオピニオンに関すること等

東京版 救急受診ガイド

インターネットで病気やケガの緊急度がチェックできます。

東京消防庁のホームページで症状ごとの質問を答えていくと病気やケガの緊急度や、受診する科目を確認できます。

判断結果によって緊急度が分かります。

赤 救急車要請
「今すぐ救急車で」病院に行った方がよい

橙 今すぐに受診
「1時間以内」に病院に行った方がよい

黄 これから受診
「6～8時間以内」に病院に行った方がよい

緑 明日には受診
「24時間以内」に病院に行った方がよい

東京版 救急受診ガイド 冊子版

全ての消防署に置いてありますので、どうぞご利用ください。該当する症状がない場合、判断がつかない場合、救急相談センターへの電話相談へ促します。

携帯電話はこちらから

スマートフォンはこちらから

パソコンからは <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

(2) 東京版救急受診ガイド

急な病気やけがをした際に、「今すぐ病院に行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」迷った時に自ら緊急性の判断ができる「東京版救急受診ガイド」を東京消防庁ホームページ上で提供しており、パソコン、スマートフォン、携帯電話から利用することができます。

「東京版救急受診ガイド」は、59の症状から該当する症状について、表示された質問から当てはまるものを選択することで、病気やけがの緊急性の有無、受診の必要性、時期、科目のアドバイスを得られるサービスです。

なお、インターネット環境を持たない都民の方へは冊子版も提供しています。冊子版は消防署にありますので、ご利用ください。

冊子版



東京版 救急受診ガイドの利用方法・サービス内容

スマートフォン・携帯電話やパソコンから東京消防庁ホームページにアクセスして『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

<3つのアドバイスを提供>

- 病気やけがの緊急性
- 受診する時期
- 受診する科目

※リンクから受診可能な病院検索もできます。

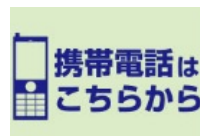


病気やけがの緊急性などは、ウェブ版も冊子版もチェックした質問によりアドバイスを確認できます。

高
緊急度
低

赤
橙
黄
緑

救急車を要請（今すぐ119番へ）
今すぐに受診（1時間以内に病院へ）
これから受診（6～8時間以内に病院へ）
明日には受診（24時間以内に病院へ）



※緊急性があると思われる場合は、ためらわず救急車（119番）をお呼びください。

別紙2

東京消防庁救急相談センターの受付状況等（過去5年間）

期間	総受付	医療機関案内	救急相談	救急要請	中等症以上
平成29年中	369,018	195,707	172,551	29,838	9,734
	1011/日	536/日	473/日	82/日	27/日
平成30年中	398,877	196,012	201,943	30,003	10,106
	1093/日	537/日	553/日	82/日	28/日
令和元年中	417,013	184,425	231,686	31,412	11,276
	1143/日	505/日	635/日	86/日	31/日
令和2年中	362,454	140,261	221,379	34,392	12,418
	990/日	383/日	605/日	94/日	34/日
令和3年中	362,392	124,228	236,757	38,755	13,605
	993/日	340/日	649/日	106/日	37/日

主な救急相談の内容（令和3年中）

No.	内訳	件数
1	腹痛	18,001件
2	発熱	16,755件
3	四肢・顔面外傷	12,290件
4	頭部外傷（小児）	12,081件
5	めまい・ふらつき	9,715件
6	頭痛	9,148件
7	胸痛	8,531件
8	呼吸困難	7,282件
9	発熱（小児）	7,005件
10	しびれ	5,865件

こんな時…どうしよう？



病院？ 救急車？ 迷ったら…

#7119

こちらからもつながります 23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

電話でも！

電話で相談

東京消防庁救急相談センター

医師、看護師、救急隊経験者等の職員が対応しています。

24時間受付・年中無休

<主なサービス>

- 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- 受診の必要性に関するアドバイス
- 医療機関案内

救急相談として | 健康相談 / 医薬品に関すること / 受けられない内容 | セカンドオピニオンに関すること

ネットでも！

ネットでガイド

東京版 救急受診ガイド

病気やけがをした際に自ら緊急性の判断ができます。



症状を選択しガイドに従う

相談結果が表示される

冊子版は消防署にありますので、ご利用ください。

知ろう 使おう #7119

作者 古川 康平さん
府中市在勤

激しい頭痛や呼吸困難などの症状がみられたら、ためらわず119番を！

東京消防庁

東京都医師会 東京都福祉保健局

東京消防

検索

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

12120-40705

資料3

応急手当の普及促進

バイスタンダーが除細動（電気ショック）を実施した時の心拍再開割合は5割^{※1}を超え、今後も応急手当の普及と自動体外式除細動器（AED）の活用により救命効果の向上が期待されます。

このことから、東京消防庁では都内在住、在勤、在学の方々に対してAEDの使用を含む応急手当講習（救命講習）を推進しています（別図1）。

この成果によって不特定多数の方が集まる場所（事業所等）での令和3年中の応急手当実施率^{※2}は68.4%と、多くの方の救護の手が差し伸べられる環境が整った反面、全心停止事案の応急手当実施率は46.3%にとどまっている状況です。

これは、全心停止事案の発生場所の約7割を占めている住宅での応急手当実施率が37.2%と低い状況であることが要因となっています（別図2）。

これらを踏まえ、地域全体での応急救護体制づくりが図られるよう、応急手当奨励制度（別紙4）の推進や、学校教育における救命講習等の受講促進、口頭指導^{※3}の適切な実施と都民への周知、庁を挙げた普及啓発広報など、応急手当の普及促進に取り組んでいます。

※1 市民目撃のあった心停止の場合

※2 市民目撃のあった心停止傷病者に対する応急手当（胸骨圧迫・人工呼吸・AEDによる除細動）の実施割合

※3 119番通報後の電話による救急隊等からの応急手当に関するアドバイス

また、令和3年中のバイスタンダーによる応急手当の効果等については別図3～5のとおりです。

なお、応急手当普及啓発用ポスターは別紙5のとおりです。

1 別図3の解説

心停止の市民目撃があった傷病者に対する応急手当（胸骨圧迫・人工呼吸・AEDによる除細動）の実施状況等は、図1、表1のとおりです。

都民等により胸骨圧迫等の応急手当が行われていたのは2,234人（46.3%）でした。このうち救急隊が医療機関に傷病者を収容するまでに脈が回復した傷病者は443人（19.8%）、1ヶ月生存者数は283人（12.7%）と、応急手当がなかった場合と大きな差がでています。

2 別図4の解説

令和3年中に、都民等がAEDを使用し除細動を実施した人数は214人で、その内の110人（51.4%）が病院到着前に心拍の回復が認められました。

3 別図5の解説

心停止した傷病者を救命するためには、「心停止の予防」「心停止の早期認識と通報」「早い心肺蘇生とAED」「救急隊や病院での処置」の4つが連続して行われることが必要です。この4つのうちどれか一つでも途切れてしまえば、救命効果は低下します。

右側の救命曲線は、心停止における「経過時間」と「命が助かる可能性」を示したものです。時間の経過で救命のチャンスは低下しますが、応急手当により救命のチャンスを高めることができます。

令和3年中の東京消防庁管轄区域内の救急出場件数は、743,703件で、42秒に1回の割合で出場しています。また、救急車が現場に到着するまでに、平均で7分20秒かかっています。一人の尊い命を救うためには、現場から医療機関までに多くの人の力が一つにつながることが必要ですが、とりわけ、バイスタンダーにより、救急隊が到着するまでに行われる応急手当がいかに重要かを示しています。

応急手当奨励制度について

● 応急手当奨励制度の目的

急な病気やけがなどの救急事故現場に居合わせた人々（バイスタンダー）が、救急車到着までの間に応急手当を実施することは大変重要です。特に、さまざまな人が多く集まる事業所や商店街、町会等において、応急救護体制の推進が期待されています。

そこで東京消防庁では、救命効果を高めるための方策の一つとして、応急手当普及に対する認識を高めてもらい、事業所や商店街、町会等が自らが応急救護体制づくりができるよう、救命講習に対する積極的な取り組みを奨励しています。

● 救命講習受講優良証

応急手当の普及に関し、下記の交付要件を満たしている事業所等に対して、消防署長が救命講習受講優良証、優良マークを交付します。

交付要件

- ① 事業所や商店街、地域等で、救命講習の普及を推進する人（応急手当普及員など）が養成され、救命講習の普及に活用されていること。
- ② 交付対象毎に、総数（従業員数等）の30%以上が、有効期限内にある救命講習修了者であること。

優良証交付事業所等の公表及び優良マークの交付



救命講習受講優良証



優良マーク

【優良マークの活用】

- ・掲示は事業所の任意とします。
- ・直径200mm以内の加工が可能です。
- ※形態や色の加工はできません。

【加工例】

名刺

株式会社消防観光

営業部長

東 消 太 郎

東京都千代田区大手町1-3-5
 Tel.03-1234-5678 Fax03-1234-9876
<http://www.tokyo.tfd> E-mail tosho@tarou

バッジ



令和4年7月8日現在、1,426の事業所等に対して交付しています。
 おもな事業所等は下表のとおりです。



事業所	駅舎、バス・タクシー会社
商店街	デパート、スーパーマーケット
町会、自治会	公衆浴場、酒販・理容組合
旅館、ホテル	郵便局
ガソリンスタンド	学校、幼稚園、保育園
劇場、映画館	ゴルフ場、スポーツクラブ
銀行、信用金庫	区・市役所
	など

応急手当奨励制度に関することや交付手続きなど、ご不明な点がございましたら
 東京消防庁管内の各消防署へお問合せください。

倒れている人をみたら…

知っていますか？ 応急手当

① 声をかける! & 助けを求める!

肩を軽くたたきながら声をかけます。



119番通報とAED搬送を大声で周りの人に依頼します。



※意識・呼吸の確認時 感染症流行時は顔を近づけすぎないようにしましょう。

② 呼吸を確認!

胸と腹部の動きを10秒以内で見ます。



普段どおりの呼吸がない、判断に迷う場合は胸骨圧迫を!

③ 胸骨圧迫!

胸の真ん中を、強く、早く、絶え間なく押します。



※胸骨圧迫を開始する前に、倒れている人の口と鼻に、ハンカチやタオル等があればふせましょう。

大人の場合
人工呼吸を行わず 胸骨圧迫を続けます。

子供の場合
胸骨圧迫30回 人工呼吸 2回
※ためらう時は胸骨圧迫のみ続けます。

④ AEDを使う!

AEDが到着したら電源を入れ、案内に従い操作します。





あなたにも救える命があります!



病院へ行く?救急車を呼ぶ?迷ったら…

#7119

まず行動 救える命 あなたから

令和4年度東京消防庁救急標語 作者:岡本 純一さん(府中市在勤)

こちらからもつながります

23区 03-3212-2323

多摩地区 042-521-2323

東京消防庁

東京消防

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

検索



リサイクル選性(A)

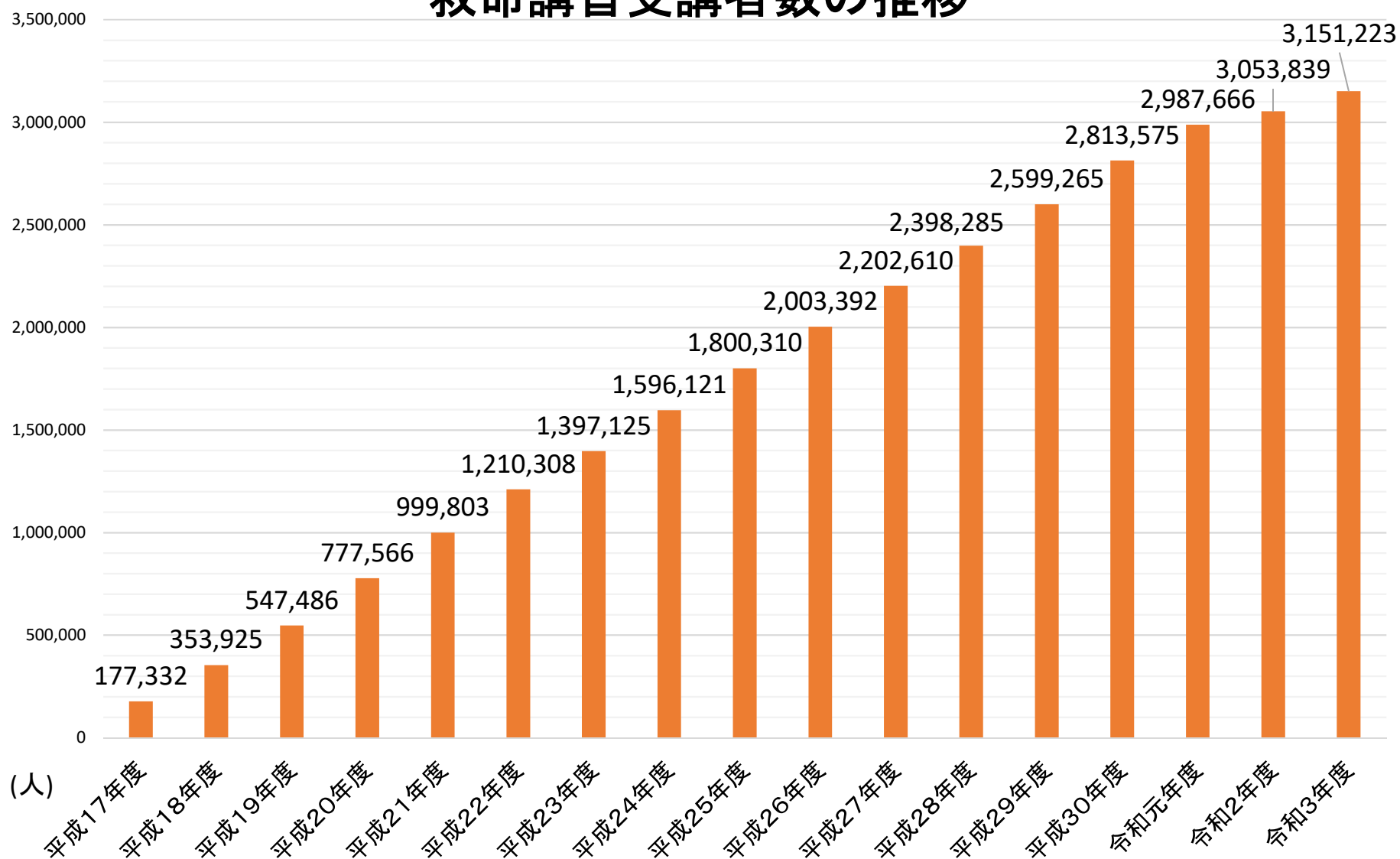
この印刷物は、印刷物の転写・リサイクルできます。

12130-040706

R4

別図1

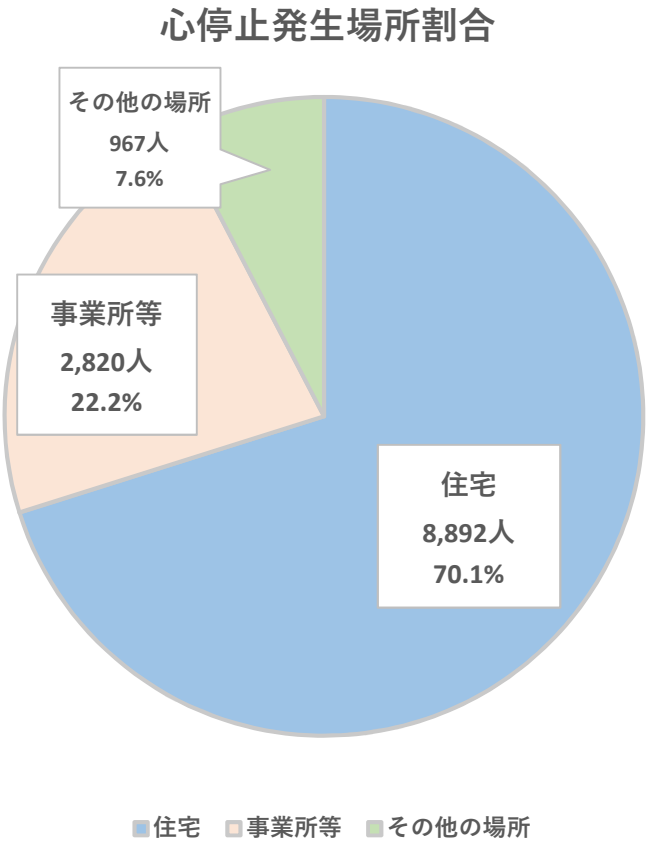
救命講習受講者数の推移



別図 2

心停止傷病者発生場所別の応急手当実施状況等
(令和 3 年中)

発生場所	搬送人員	心停止 市民目撃 あり	応急手当あり ※胸骨圧迫・人工 呼吸・除細動	
	a	b	c	実施率 c / b
住宅	8,892人	3,014人	1,120人	37.2%
事業所等	2,820人	1,335人	913人	68.4%
その他の場所	967人	475人	201人	42.3%
総計	12,679人	4,824人	2,234人	46.3%



発生場所	搬送人員	心停止 市民目撃 あり	応急手当あり ※胸骨圧迫・人工呼 吸・除細動	
	a	b	c	実施率 c / b
住宅（専用・共同・寮・寄宿舎）	8,892	3,014	1,120	37.2%
認知症高齢者グループホーム	70	30	18	60.0%
特別養護老人ホーム	681	273	212	77.7%
その他老人施設	914	360	256	71.1%
ホテル・旅館・簡易宿泊所	63	22	14	63.6%
自助施設・グループホーム等（認知症以外）	94	39	19	48.7%
会社・オフィス	106	60	32	53.3%
工場・製造所・作業場	54	28	12	42.9%
その他仕事場業態の場所	7	4	2	50.0%
販売・サービス業施設	241	150	71	47.3%
娯楽・遊戯施設	37	21	8	38.1%
健康・保養・美容施設	57	23	12	52.2%
病院	88	55	54	98.2%
診療所・クリニック・医院	99	78	66	84.6%
助産所・鍼灸院・接骨院等	2	2	2	100.0%
育児児童施設・学校	27	14	13	92.9%
芸術・文化施設	9	4	3	75.0%
運動施設	57	33	26	78.8%
宗教施設・斎場等	17	11	4	36.4%
官公庁・行政施設	38	22	14	63.6%
線路・軌道敷	25	11	2	18.2%
駅	133	94	72	76.6%
空港	1	1	1	100.0%
公園・遊園地等	63	15	9	60.0%
駐車場・駐輪施設	58	16	6	37.5%
一般道路（公道・私道・施設内道路）	722	405	168	41.5%
高速道路・自動車専用道路	8	2	2	100.0%
農地（田・畑）	7	1	1	100.0%
山林	3	2	1	50.0%
河川・水路	53	7	0	0.0%
海	9	3	2	66.7%
その他自然環境・土地	4	1	0	0.0%
建築・工事現場	37	21	10	47.6%
その他	3	2	2	100.0%
総計	12,679	4,824	2,234	46.3%

別図 3

心停止の市民目撃のあった傷病者に対する 応急手当実施状況等（令和 3 年中）

図 1 バイスタンダーによる

応急手当実施状況
（市民目撃あり）

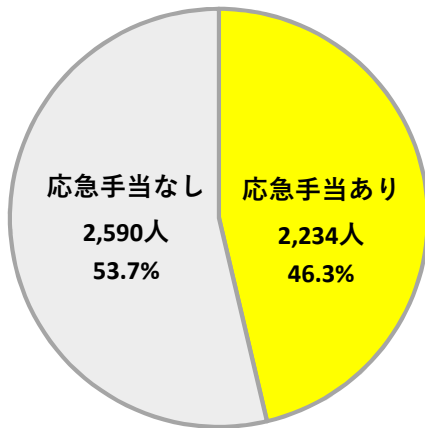


表1 病院収容前心拍再開・1か月生存状況

市民目撃あり	搬送人員(人)	心拍再開数(人)	心拍再開率	1か月生存数(人)	1か月生存率
応急手当あり	2,234	443	19.8%	283	12.7%
応急手当なし	2,590	297	11.5%	118	4.6%
合計	4,824	740	15.3%	401	8.3%

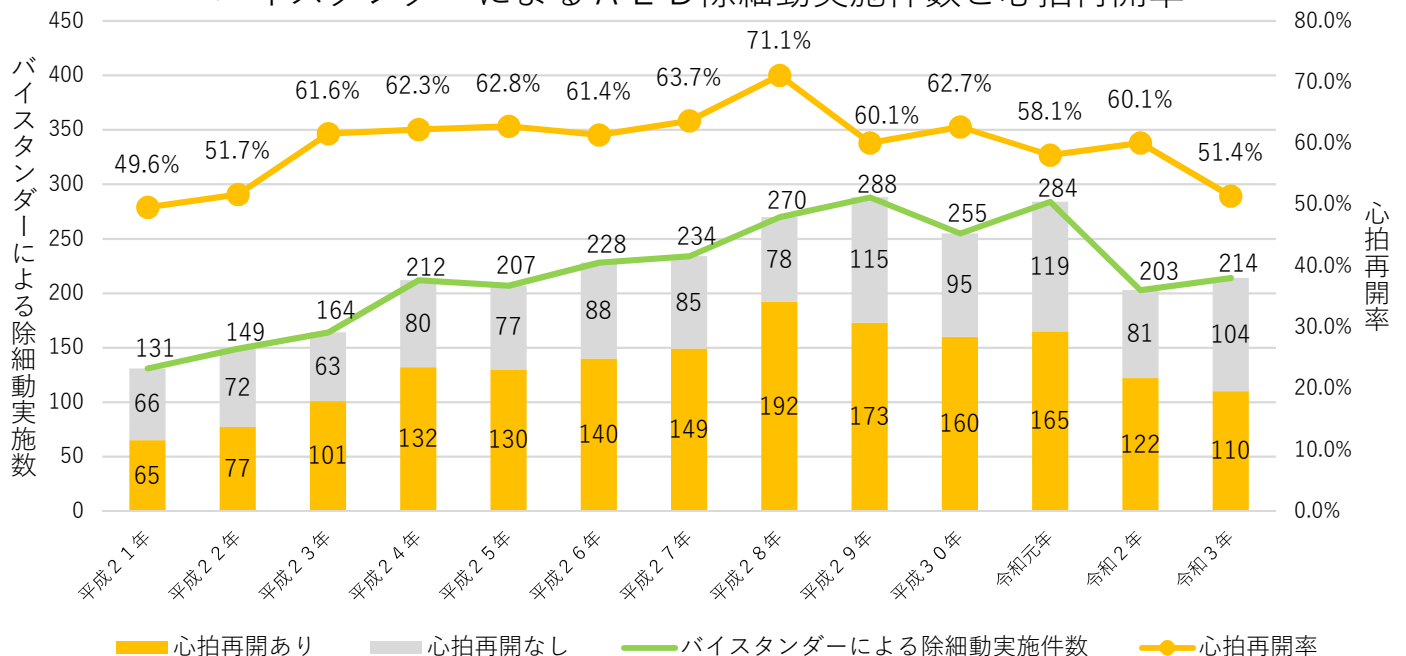
8.4倍

2.8倍

別図 4

目撃のある傷病者に対するバイスタンダーによるAEDの救命効果（令和 3 年中）

バイスタンダーによる A E D 除細動実施件数と心拍再開率



病院に搬送されるまでに自己心拍が回復しなかった傷病者数

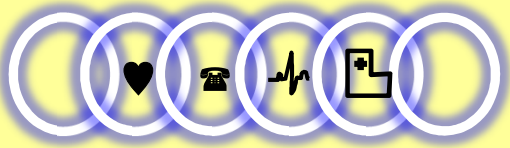
病院に搬送されるまでに自己心拍が回復した傷病者数

別図5

救命の連鎖(チェーン・オブ・サバイバル)の重要性

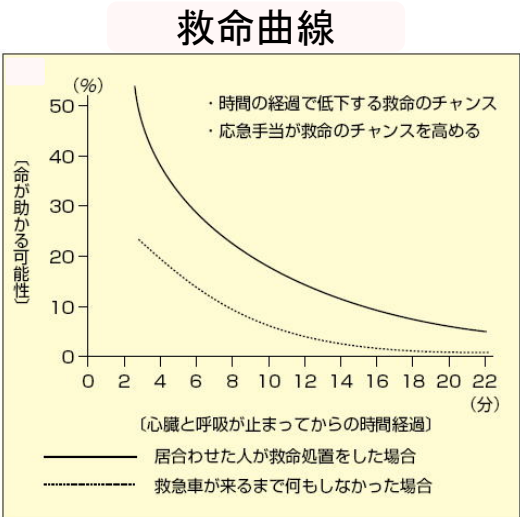
「救命の連鎖」

(Chain of Survival)



大切な命を救うために必要な行動を、迅速に
途切れることなく行う重要性を表しています。

-  **心停止の予防**
-  **心停止の早期認識と通報**
-  **早い心肺蘇生とAED**
-  **救急隊や病院での処置**



Holmberg M et al. Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 47:59-70, 2000. より、一部改変して引用

資料4

応急手当のアドバイス（口頭指導）

救命効果の向上を図るため、通報者に対する応急手当のアドバイス（口頭指導）をしています。

1 通話によるアドバイス

119番通報後、救急隊が到着するまでの間に、災害救急情報センターの管制員や現場に向かう救急隊員が、通話により傷病者の状況等を確認しますので、その場の状況に応じた応急手当のアドバイスを受けることができます。

2 映像によるアドバイス「Live119」

スマートフォンからの通報時は、通話によるアドバイスだけでなく、映像通報システム「Live119」を活用してアドバイスを行っています。

このシステムでは、まず東京消防庁から通報者のスマートフォンにショートメールを送信します。次に、このメールを開き、メッセージに従ってアクセスしていくと、応急手当の動画を見ることができたり、スマホで撮影した、その場の映像を東京消防庁と共有したりすることができます。

映像の共有機能を使えば、とっさの状況でも言葉を使わず簡単に、今の状況を的確に伝えることができます。また、映像をもとにすることで、その場の状況に応じた、より的確なアドバイスを受けることができます。

一緒に救急車が来るまでの時間に応急手当を行い、尊い命を救いましょう。



※Live119の接続に伴う通信費用は、通報者負担となります。

※映像撮影の際の、肖像権や安全には十分配慮してください。

資料5

救急車の適正利用の促進

東京消防庁で実施した令和3年の消防に関する世論調査では、救急車を呼んだ理由として、「生命の危険があったと思った」など正しい理解があった反面、「どこの病院へ行っていいか分からなかった」「救急車でいくと優先的に診てもらえると思った」「交通手段がなかった」といった、緊急性のない理由も見受けられました。

救急車で搬送された方のうち、入院を必要としない軽症者の割合は50%以上を占めており（令和3年中は、51.4%）、この割合は、近年においてほぼ横ばいで推移しています。

東京消防庁では、119番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車を出動させていますが、緊急性のない理由での救急要請が増えて近くの救急車が全て出動してしまうと、遠くの救急車が出動することになり、到着まで時間がかかってしまいます。

救急車の到着が遅れると、真に救急車を必要としている生命の危機が迫っている人を病院に搬送する時間が遅くなり、命が助かる可能性が低下してしまうため、真に救急車を必要とする方のために、救急車の適正利用を呼びかけていきます。